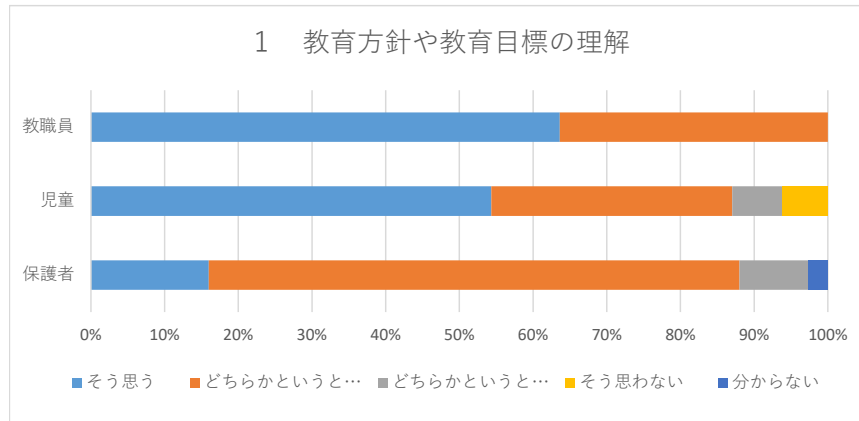


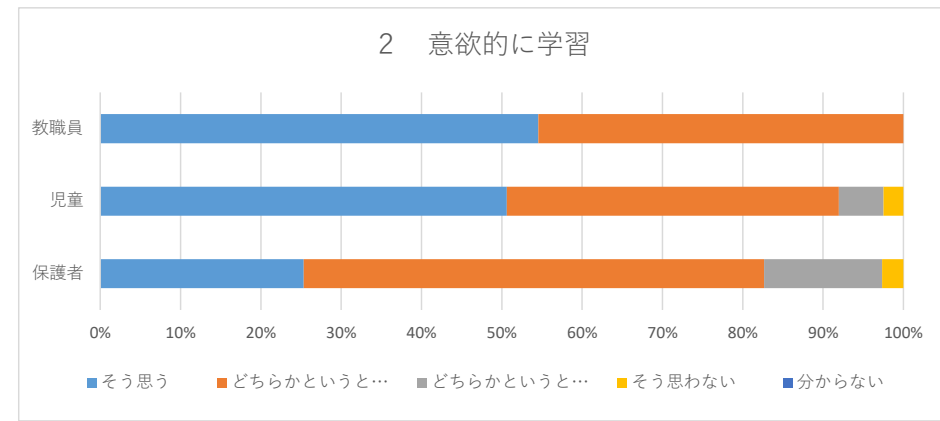
令和6年度

学校評価の結果と考察（保護者・児童・教職員）

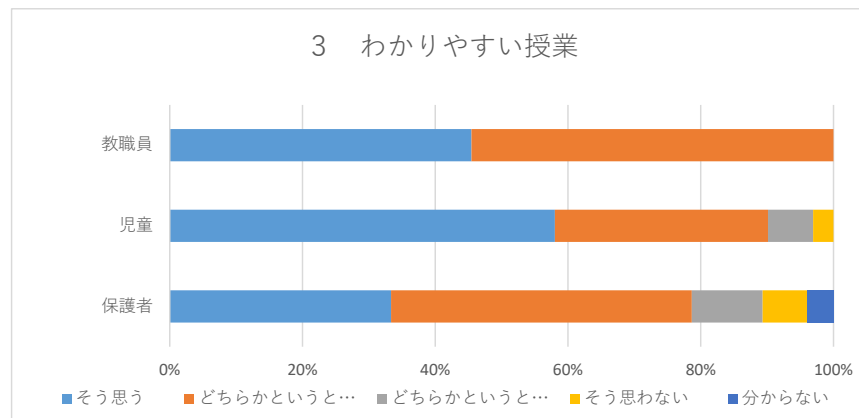
※（ ）内の％数値は昨年度との比較



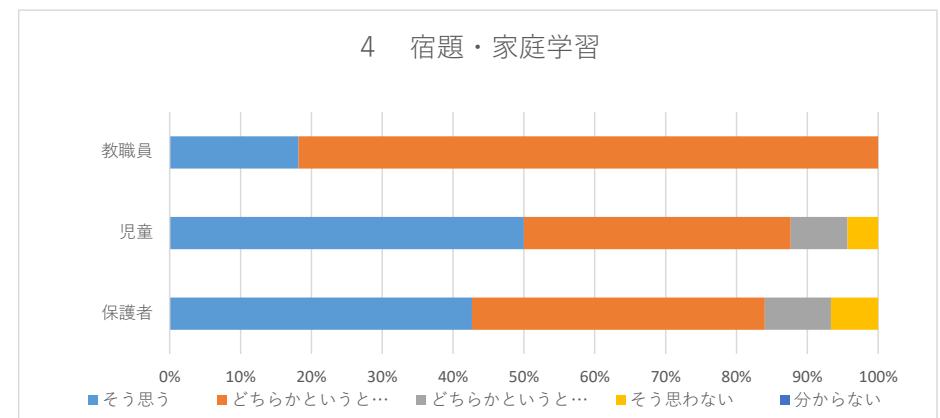
保護者の肯定的評価が76.7％（－8.3％）、児童の肯定的評価が91％（－1％）となった。本年度も、学校教育目標の下7つの重点目標を掲げ、学校だより、ホームページ、全校朝会等で説明をしてきたが、保護者への周知が足りなかった。大森小の伝統やよいところについても触れながら、あらゆる機会に説明し、周知を図っていきたい。



保護者の肯定的評価71.5％（－8％）、児童の肯定的評価は92.9％（＋0.8％）。児童の意欲を高めるためには基礎基本の学力の定着が不可欠である。朝20分間のチャレンジタイムを設け、計算問題や漢字の書き取りに取り組んでいる。特に今年度は、校内で「計算スタンプラリー」を実施し、楽しく基礎学力が定着するようにした。

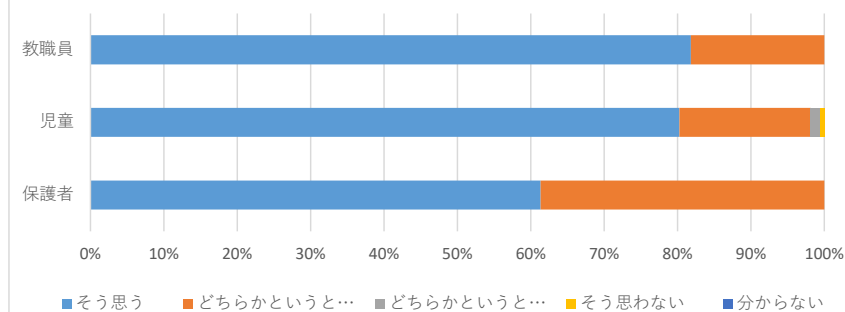


保護者の肯定的評価75％（－1.3％）、児童の肯定的評価は96％（＋3％）。「わかった」「できた」と実感できる授業を目指してきた。ユニバーサルデザインの視点を生かし、各教科に取り組んできた。前述した「計算スタンプラリー」のような活動や体験的な活動を取り入れながらわかる授業に今後も取り組んでいきたい。



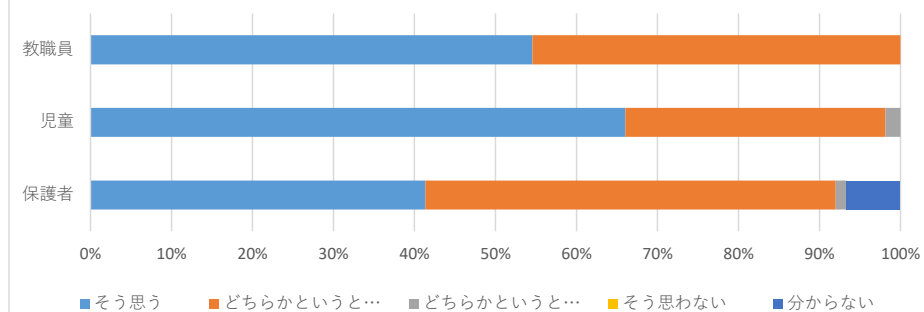
宿題については、どの学年も計画的出している。学年×10分間は机に向かうよう保護者会や学校だよりで呼びかけている。保護者の肯定的評価86.2％（－2％）、児童の肯定的評価が93.6％（＋1.5％）となった。親と子に認識の違いはあるが、保護者の方の協力を得ながら定着していると思われる。

5 友達を大切にする



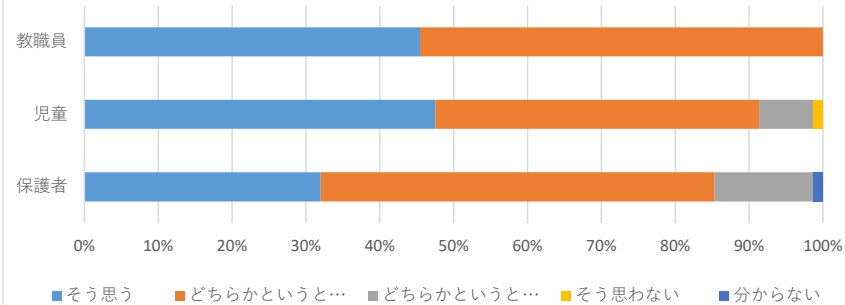
保護者の肯定的評価は100%（+2%）、児童の肯定的評価99.4%（+2.4%）。三者とも肯定的評価が高かった。日頃の生徒指導、道德教育の充実、人権週間での取り組みで友達を大切にする気持ちが徐々に高まってきている。引き続き、日常的に「友達を大切にする」教育を家庭と協力しながら行ってきたい。

6 心の教育



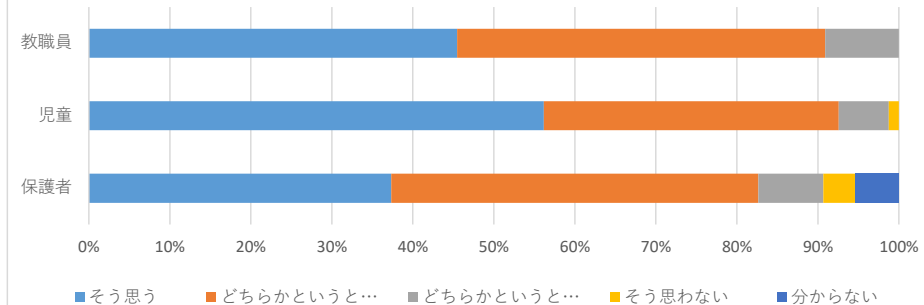
保護者の肯定的評価94%（+7%）、児童の肯定的評価99.3%（+3.3%）。日頃の道德教育の他に、体験活動、たてわり活動を通して心の教育に努めている。自然体験活動、高齢者福祉体験、地域学習等では自然や人と触れ合いながら豊かな心を育成している。昼休みや清掃のたてわり活動では、異学年の集団の中で他者を思いやる様子が多く見られた。

7 健康・生活習慣



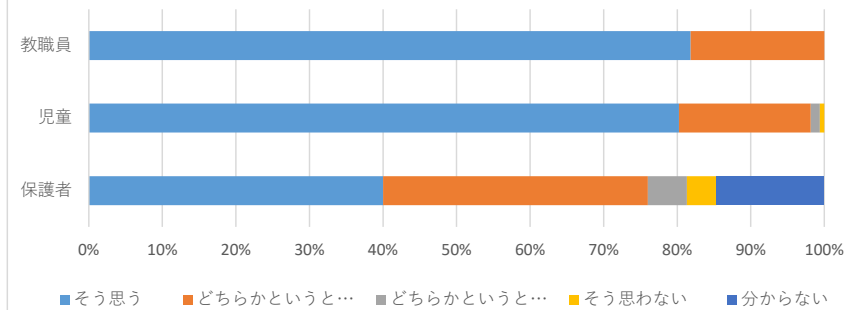
保護者の肯定的評価81.1%（-6.9%）、児童の肯定的評価91%（-2%）コロナの5類への移行に伴って感染予防への意識は低くなった。体力作り面では、業間のマラソンや縄跳びの練習への参加率が高い。市栄養士を招いての食育教室、養護教諭による性教育、歯科検診を通してのブラッシング指導などを行っている。

8 一人一人を大切にした指導



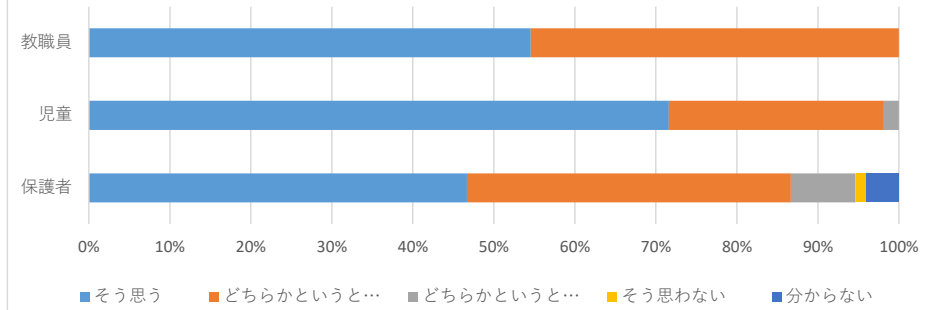
保護者の肯定的評価93.1%（+9.1%）、児童の肯定的評価98.7%（+6.7%）。担任だけでなく、全職員で子ども達の学習・生活指導にあたっている。必要に応じて、連絡帳や電話等で児童の様子を伝えており、保護者との連携を意識している。今後も、児童の実態の共通理解を図るために、保護者と連携し、個に応じた指導に努めていく。

9 いじめへの対応



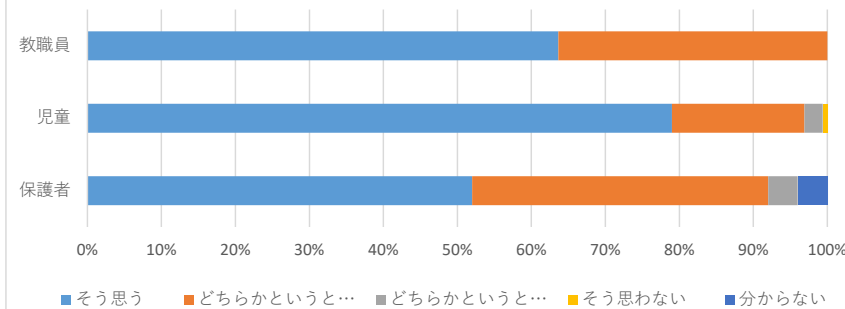
保護者の肯定的評価85.3%（+5.3%）、児童の肯定的評価96.8%（+1.8%）。日常の児童観察と「あのね箱」やいじめアンケート調査を年6回実施したうえで、教育相談を実施し、いじめの早期発見・対応に努めている。さらに、Webによる相談を設け、相談窓口の充実を図った。職員会議や生徒指導会議で情報の共有を図っている。

10 困ったときに話を聞いてくれる



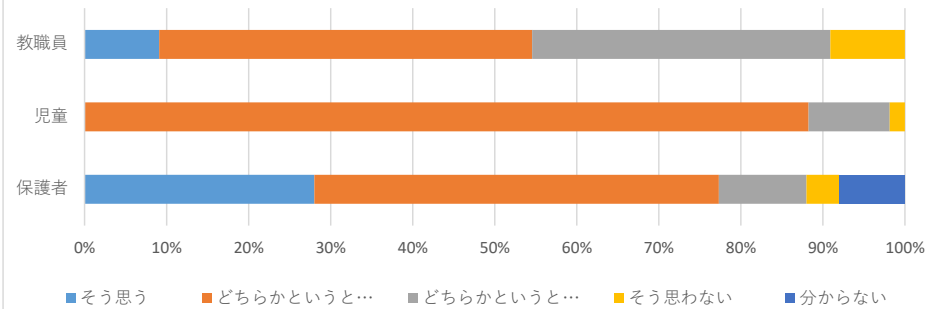
保護者の肯定的評価91.4%（+2.4%）、児童の肯定的評価99.4%（+4.4%）。友達とのトラブル等、学習や生活全般に渡って、困ったときこそその学校である。日頃から児童がいろいろな職員と接する機会を作り、相談しやすい環境を整えている。また、保護者との連絡を密にし、相談しやすい関係を築くよう心がけている。今後も、児童、保護者から相談しやすい環境作りに努めていきたい。

11 事故防止・安全教育



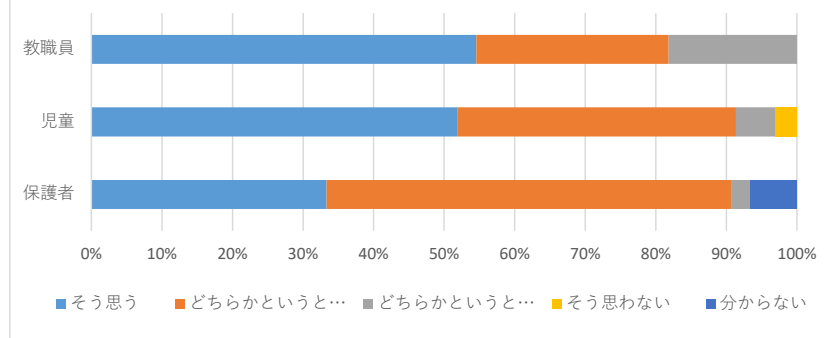
保護者の肯定的評価87.97%（-2.8%）、児童の肯定的評価99.4%（+2.4%）。避難訓練（地震、火災、不審者）3回、スポット避難訓練10回を実施し自分の命は自分で守るを合言葉に取り組んでいる。交通安全教室、通学路の点検、校内安全点検（毎月10日）を実施し、事故防止に努めている。

12 学校の施設設備



保護者の肯定的評価80.2%（-3.8%）、児童98.7%（-0.1%）。教室棟が古いままであり、児童が日常的に使用するロッカーの破損はかなりのあるが、毎日の掃除で床はきれいである。校庭は春から夏にかけて雑草が非常に多くなり、常時的な除草作業に加え、PTAの環境整備でも除草しているが、厳しい。ICT関連の機器については充実している。

1 3 地域の施設や人材活用



保護者の肯定的評価 80.2% (+4.2%)、児童の肯定的評価 96.8% (+6.8%)。地域体験として、市役所、警察署、消防署、クリーンセンター等を見学している。読み聞かせボランティア、図書ボランティア、安全ボランティア、陸上指導、金管指導など地域の人材の活用を図っている。

【まとめ】

①教育方針や教育目標を理解している	【保】 76.7% (−8.3)	【児】 91.1% (−1)
②意欲的に学習している	【保】 71.5% (−8)	【児】 92.9% (+0.8)
③授業がわかりやすい	【保】 75% (−1.3)	【児】 96.1% (+3)
④宿題や家庭学習に取り組んでいる	【保】 86.2% (−2)	【児】 93.6% (+1.5)
⑤友だちを大切にしている	【保】 100% (+2)	【児】 99.4% (+2.4)
⑥心の教育に努めている	【保】 94% (+7)	【児】 99.3% (+3.3)
⑦健康に気をつけて生活している	【保】 81.1% (−6.9)	【児】 91% (−2)
⑧一人一人を大切にしたい指導をしている	【保】 93.1% (+9.1)	【児】 98.7% (+6.7)
⑨いじめにきちんと対応している	【保】 85.3% (+5.3)	【児】 96.8% (+1.8)
⑩困ったときに話を聞いている	【保】 91.4% (+2.4)	【児】 94% (+4.4)
⑪事故防止や安全教育に努めている	【保】 87.9% (−2.8)	【児】 99.4% (+2.4)
⑫学校の施設設備は整っている	【保】 80.2% (−3.8)	【児】 98.7% (−0.1)
⑬地域の施設や人材を活用している	【保】 80.2% (+4.2)	【児】 96.8% (+6.8)

学校の心の教育への取り組みが評価され、保護者と児童の理解率が増加しました。また、友達を大切にする意識も高まっており、保護者と児童の両方で高い評価が得られました。学校と家庭が共に心の教育や人間関係の形成に積極的に取り組んだ成果です。学校の取り組みとしては、教師が一人一人の生徒に対して配慮した指導を行っていることが評価されました。高評価の低かった学校の教育方針や教育目標の理解については、学校便りやホームページ、授業参観等を通して、教育方針・教育目標をより伝えていくよう努力してまいります。今後も引き続き、保護者や地域の皆さんと協力し合って、「豊かな心を持ち、自ら学び、たくましく生きる子ども」の育成に努めていきたいと思っています。